

福岡六大学野球連盟
新型コロナウイルス感染症防疫対策ガイドライン

1. 基本方針

チーム関係者、大会関係者、スタンド入場者等、球場を使用する全ての者は、「密閉、密集、密接」の回避の徹底に努め、移動時は常にマスク着用とする。また、利用する施設の規約や防止策を遵守すること。

2. 消毒について

- ・手指の消毒用スプレー式アルコールの配置

本部玄関、1 塁側及び3 塁側選手出入口及びベンチ内、スタンド出入口 等に配置する。

- ・ベンチ内とロッカーは、試合の合間に専門業者による消毒を行う。

3. 入場時の対策について

入場時、全ての者は常にマスク着用とする。

- ① チーム関係者（部長、監督、選手、その他スタッフ等、ベンチ入りする者）

各大学は、ベンチ入りする者全員について、出発前に検温を行い、「氏名」「体温」「健康状態」等を記した「健康チェックシート（チーム用）【別紙 1】」を本部へ提出する。同チェックシートの質問 3 項目のいずれかに「有」とチェックがあった者の球場への入場可否については、連盟がチーム責任者と協議して判断する。

また、球場到着後、連盟が用意した検温器で再度検温を行い、発熱状態の者、ウイルス感染が疑われる者の球場内への立ち入りは認めない。

- ② 大会関係者（学生幹事及びスタッフ等、審判員含む）

各自、出発前に検温を行い、「氏名」「体温」「健康状態」等を記した「健康チェックシート（大会関係者用）【別紙 2】」を本部へ提出する。同チェックシートの質問 3 項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、連盟が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。

また、球場到着後、連盟が用意した検温器で検温を行い、発熱状態の者等、ウイルス感染が疑われる者の球場内への立ち入りは認めない。

- ③ 報道関係者及びスタンド来場者

入場可能者は以下とし、原則事前に本連盟が連絡を受けた者のみとする。

- ・本連盟所属硬式野球部員
- ・本連盟所属硬式野球部員の家族（父母、祖父母、兄弟まで）
- ・プロ球団または社会人野球チームのスカウト（各チーム2名まで）
- ・報道関係者（各報道機関1名まで、TV局等の複数の場合は要相談）

事前連絡を受けた者のリスト「健康チェックシート（報道機関用）【別紙 3】、（スタンド来場者用【別紙 4】）」を連盟で準備し、入場の受付時に使用する。同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、連盟が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。

また、記者席及びスタンド入り口にて、連盟が用意した検温器で検温を行い、発熱状態の者、ウイルス感染が疑われる者の入場は認めない。

4. チーム関係者の感染予防策

部長、監督、コーチは新型コロナウイルス感染防止対策を常に念頭に置きながら選手を指導することとする。

① 試合前

- ・チーム全体でのミーティングや、長時間の密集を避ける。
- ・ウォーミングアップ時のマスク着用は必須としない。

② 試合中

- ・ベンチ内の部長、監督、控え選手は、マスク着用を原則とする。
- ・ベンチ内の選手間の距離を取る（できるだけ1m以上）。
- ・握手、ハイタッチ等、選手間の接触は控える。
- ・試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保てるよう、広めに組む。
- ・投手交代等でマウンドに集まる場合、できるだけ選手、監督（コーチを含む）との間隔をとり、可能な限り接触を避ける。

③ 試合後

- ・試合の合間に、専門業者によるベンチ内の消毒を行う。また前試合チームと次試合チームとの接触をなるべく避けるため、出入り口は一方通行とする。次試合チームはグラウンド入り後、ベンチ前に待機とし、前試合チームは試合終了後、すみやかにベンチ後方の出口より退出する。ベンチ後方に出口がない場合は、一方通行となるよう学生幹事が誘導する。
- ・チーム全体でのミーティングや、長時間の密集を避ける。

5. 大会関係者の感染予防策

- ・本部席、審判控室、記録室、放送室等は、使用する者が定期的に換気する。
- ・座席の間隔は一定の距離（2mが難しいときは座席1つ開けるなど）を保つ。審判

控室等、多人数が集まる可能性がある場所については、特に注意する。

6. 報道関係者の感染予防策

- ・記者席では、定期的に喚起する。
- ・チーム関係者へ取材を行う場合は、取材対象者を事前に連盟に通し、その指示に従う。
- ・取材するときは、**2m**以上の距離を保つ。なお取材エリアは連盟の指示に従うこととし、ぶらさがり取材や囲み取材は禁止する。

7. スタンド来場者の感染予防策

- ・声出しは控える。
 - ・楽器を使用した応援を禁止する。
 - ・座席は、1つ以上（できるだけ**2m**以上）空け、ソーシャルディスタンスの確保に努める。
- ※スタンドに学生幹事を複数立たせ、注意喚起を行います。

8. スタンドでの応援について

- ・声出しは控える。
 - ・楽器を使用した応援を禁止する。
 - ・座席は、1つ以上（できるだけ**2m**以上）空け、ソーシャルディスタンスの確保に努める。
- ※スタンドに学生幹事を複数立たせ、注意喚起を行います。

9. 感染者が発生した時の対応

(1) リーグ戦前日までの対応

① チーム関係者（図①-1、①-2 参照）

- ・チーム内の体調不良者が医療機関から新型コロナウイルス感染症の疑いがあると診断された場合、チーム代表者は連盟に報告する。
- ・チーム関係者は検査結果を連盟に報告し、保健所の指示、指導に従い陽性者には隔離、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）には合宿所もしくは自宅待機の措置を行う。
- ・チーム代表者は大会に出場可能な選手数を連盟に報告する。
- ・連盟と当該チームで濃厚接触者（陽性者と濃厚接触の可能性のある者を含む）の大会出場の可否について協議する。

② 大会関係者

- ・大会関係者内に感染または感染の疑いがある場合、すみやかに連盟に報告し、大会運営への参加を自粛する。また、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）

も大会運営への参加を自粛する。

(2) リーグ戦期間中の対応

① チーム関係者

・チーム代表者はすみやかに連盟に報告し、保健所の指示、指導に従い陽性者には隔離、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）には合宿所もしくは自宅待機の措置を行う。

・チーム代表者は大会に出場可能な選手数を連盟に報告する。

・連盟と当該チームで濃厚接触者（陽性者と濃厚接触の可能性のある者を含む）の大会出場の可否について協議する。

② 大会関係者

・大会関係者内に感染または感染の疑いがある場合、すみやかに連盟に報告し、大会運営への参加を自粛する。また、濃厚接触者（濃厚接触の可能性のある者を含む）も大会運営への参加を自粛する。

③ スタンド入場者

・感染が判明した場合、保健所の指示、指導に従うものとする。また、併せて連盟までご連絡いただくよう入場時に促す。

(3) リーグ戦終了後の対応

① チーム関係者及び大会関係者

・感染したことが判明した場合、すみやかに連盟に報告し、保健所の指示、指導に従うものとする。

② スタンド入場者

・感染が判明した場合、保健所の指示、指導に従うものとする。また、併せて連盟までご連絡いただくよう入場時に促す。

10. その他

なお、本ガイドラインに記載されていない事象が発生した場合は、連盟及び施設担当と協議の上、対応する。